

モジャコ情報 No.1

平成 29 年 4 月 19 日
和歌山県水産試験場

調査日：2017 年 4 月 14 日（沿岸定線：潮岬～江須崎）

調査船名：きのくに

調査海域：潮岬（2～10 マイル）～江須崎（2～10 マイル）の沿岸（沿岸定線）

.....調査結果の特徴.....

1. 調査時の黒潮は、室戸岬～潮岬で接岸、熊野灘を東へ流去している。
2. 調査海域の表面水温は 19～21℃台で、潮岬 10 マイル～江須崎 10 マイル付近は 21℃台、江須崎 2 マイル付近は 19℃台である。
3. 流れ藻の採集は、江須崎 2～6 マイルの間で 2 個、江須崎～串本西岸で 2 個、合計 4 個を採集した。
4. モジャコの付着状況は、採集した 4 個のうち 3 個にみられ、合計 29 尾である。
5. モジャコのサイズ (FL) は、12.2～72.4mm で平均 20.5mm、昨年同期より小型である。

.....

[海況]

4 月 14 日の関東東海海況速報によると、黒潮は室戸岬～潮岬で接岸、熊野灘を東へ流去している。紀南沿岸域では直接黒潮に洗われ、紀伊水道外域は暖水に覆われる。熊野灘南部は 15～16℃の低水温域である。

調査船「きのくに」による調査海域の表面水温は 19～21℃台で、潮岬 10 マイル～江須崎 10 マイル付近は 21℃台、江須崎 2 マイル付近は 19℃台である。潮岬 6 マイルの 200m 水温は 16.96℃で、黒潮指標水温である 200m、16℃を上回った。黒潮は潮岬で極めて接岸している。

[流れ藻の分布状況]

今回の調査では、江須崎 2～6 マイルの間で 2 個、江須崎～串本西岸で 2 個、合計 4 個を採集した。各海域にチギレ藻・流れ藻の散在を目視した。

[モジャコの付着状況と体長組成]

今回の調査では採集した 4 個のうち 3 個にモジャコの付着が確認できた。付着数は合計 29 尾である。流れ藻 1 個あたり平均 9.7 尾で、昨年の平均 7.3 尾より僅かに多い。

魚体の大きさ (FL) は、12.2～72.4mm で平均 20.5mm であり、昨年の 31.8mm より小さく、70.0mm 以上の大型魚は僅か 1 尾であった。採集した流れ藻の大きさは、1.0m×0.8m～3.0m×2.5m で、昨年よりやや小さい。

「その他」

2017年4月5日の熊野灘の沿岸定線時では流れ藻1個を採集したが、モジャコ・その他の稚魚は確認できなかった。

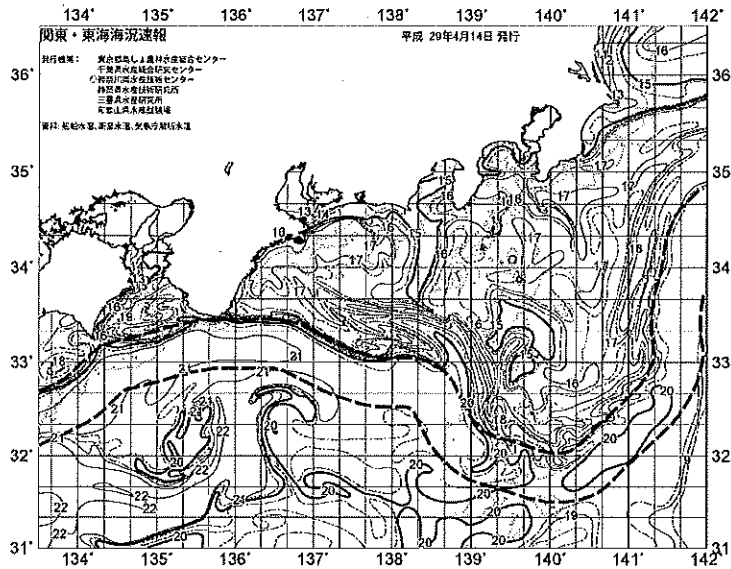


図1 2017年4月14日の関東東海海況図

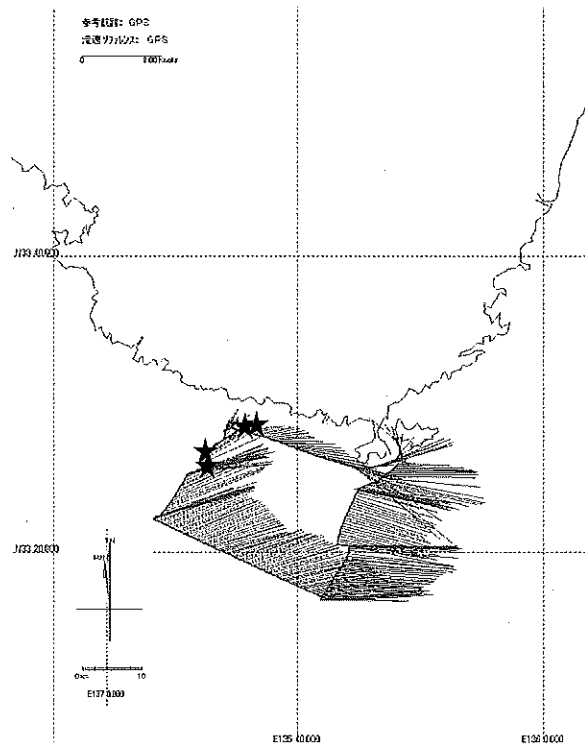


図2 2017年4月14日の調査航跡および表層(17m)の流向流速
★流れ藻の採集

表1 流れ藻の採集状況 (2017/04/14)

NO.	月日	時間	緯度	経度	水温°C	藻の大きさ	魚種・個体数
1	4月14日	13:36	33° 25.5' N	135° 31.6' E	20.8	1.0m×0.8m	フリ2、ハル2
2	4月14日	13:44	33° 25.6' N	135° 31.9' E	20.7	1.0m×0.8m	フリ3
3	4月14日	14:15	33° 28.3' N	135° 34.2' E	20.0	3.0m×2.5m	フリ24
4	4月14日	14:21	33° 28.4' N	135° 34.4' E	20.0	2.0m×2.0m	ダイ1、ハナオコセ2

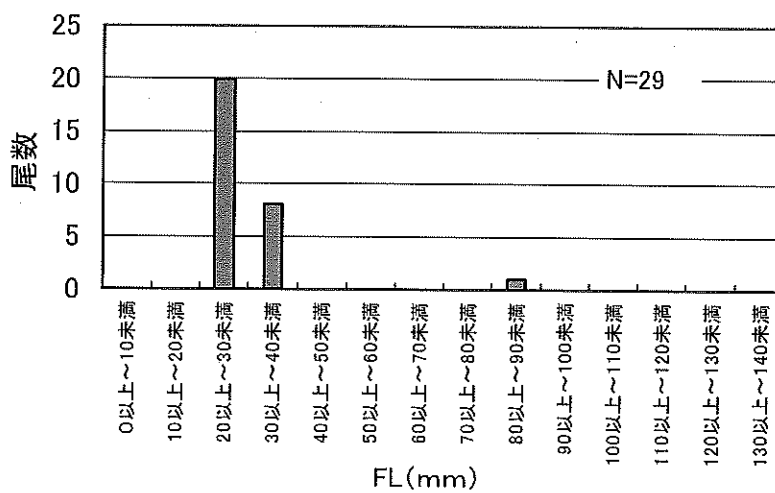


図3 モジャコのFL組成 2017/04/14

沖合黒潮調査 2017. No. 3
(モジヤコ情報 No2)

平成 29 年 5 月 1 日
和歌山県水産試験場

漁業調査船「きのくに」は 4 月 28 日に潮岬南沖 50 マイルの漁場調査を行った。
日本列島は高気圧に覆われる。海上はうねりを伴うが風が弱く風であった。
調査結果は以下のとおり。

		潮岬南沖
黒潮中心部		10 マイル
流速 (流向)		1.0~2.9 k t (NE~ESE)
黒潮表面水温		21~22℃台
黒潮強流帯の北縁		5~7 マイル付近
沿岸漁場水温 表層		19~20℃台
(2~5 マイル)	50m	18~19℃台
	100m	17℃台
	150m	14~16℃台

黒潮など (図 1)

関東東海海況速報によると、黒潮は土佐湾沖を北上し、室戸岬~潮岬で接岸、熊野灘を東へ流去している。紀南沿岸域から紀伊水道外域を暖水が北上、和歌浦湾付近まで達している。紀伊水道外域に 20℃台の孤立暖水がある。熊野灘中南部沿岸では、顕著な暖水波及はなく 17℃前後の比較的単調な海況である。

沖合・沿岸の流況および水温 (図 2、3)

今回の調査では潮岬南沖 10 マイルの水深 200m で 16.31℃を観測した。水深 200m の黒潮の指標水温が 16.0℃以上であることと流況から、黒潮中心部を 10 マイルと判断した。黒潮は潮岬沖で接岸している。

ADCP による流況結果から、表層 (17m) では潮岬の極沿岸は 1kt 未満、同岬 1 マイル付近で流速 1kt 台から 2kt 台となる。同岬 6~7 マイル付近に 3.0kt の最強流域があり、黒潮流域内は 1.0~2.9kt である。

表面水温は潮岬沿岸 1 マイル付近で 18℃台、同岬 2~3 マイルは 19℃台、4~5 マイルで 20℃台、6~10 マイルで 21℃台となる。黒潮流域内は 20~22℃台で、同岬 11~24 マイルは 22℃台の高水温域である。

潮岬沿岸 2 マイルでは 15℃水温は 150m 付近にあり、下層はやや低温化している。

今回の観測では、黒潮流域内の潮岬南 20 マイル以遠の各定点で、表層~最大水深 129 m で 34.900~34.999 の高塩分を観測した。これは前々回 (1/26 : 34.907~34.938)、前回 (2/16 : 34.901~34.970) より、更に高い値となっている。

モジャコ情報

[流れ藻の分布状況]

今回の調査では、潮岬沖 50 マイル付近で 2 個、復路の同岬 37 マイル付近で 3 個、合計 5 個を採集した。同岬 50 マイル付近では流れ藻を多数目視した。

[モジャコの付着状況と体長組成]

今回の調査では採集した 5 個のうち 2 個にモジャコの付着が確認できた。付着数は合計 3 尾である。流れ藻 1 個あたり平均 0.6 尾で、前回調査 (4/19) の平均 9.7 尾より極めて少ない。

魚体の大きさ (FL) は、42.7~72.0mm で平均 56.3mm であり、前回調査の 20.5mm より大きい。採集した流れ藻の大きさは、1.0m×1.0m~2.5m×2.0m で、前回調査とほぼ同じ程度である。

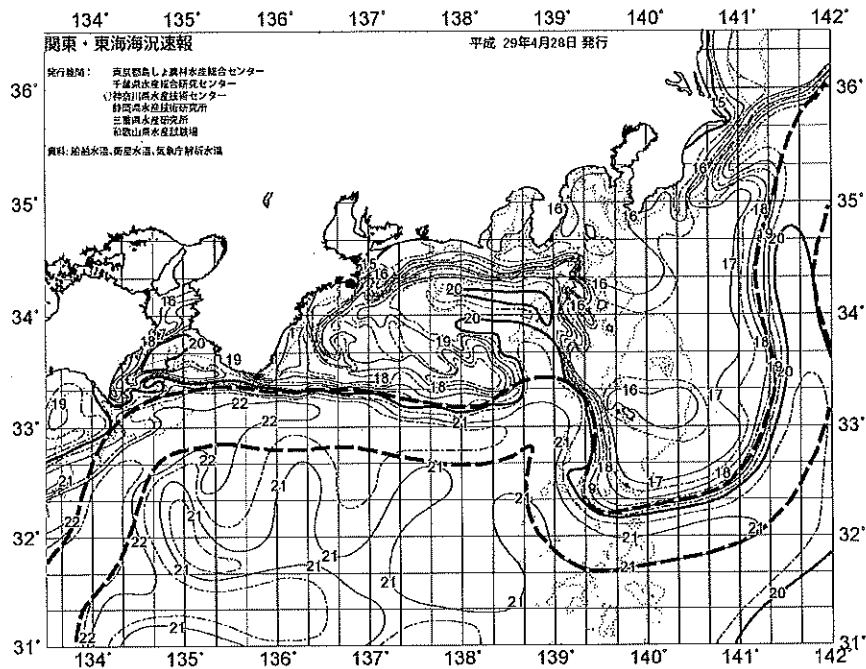


図1 調査時の海況図 (関東・東海海況速報 2017年4月28日版)

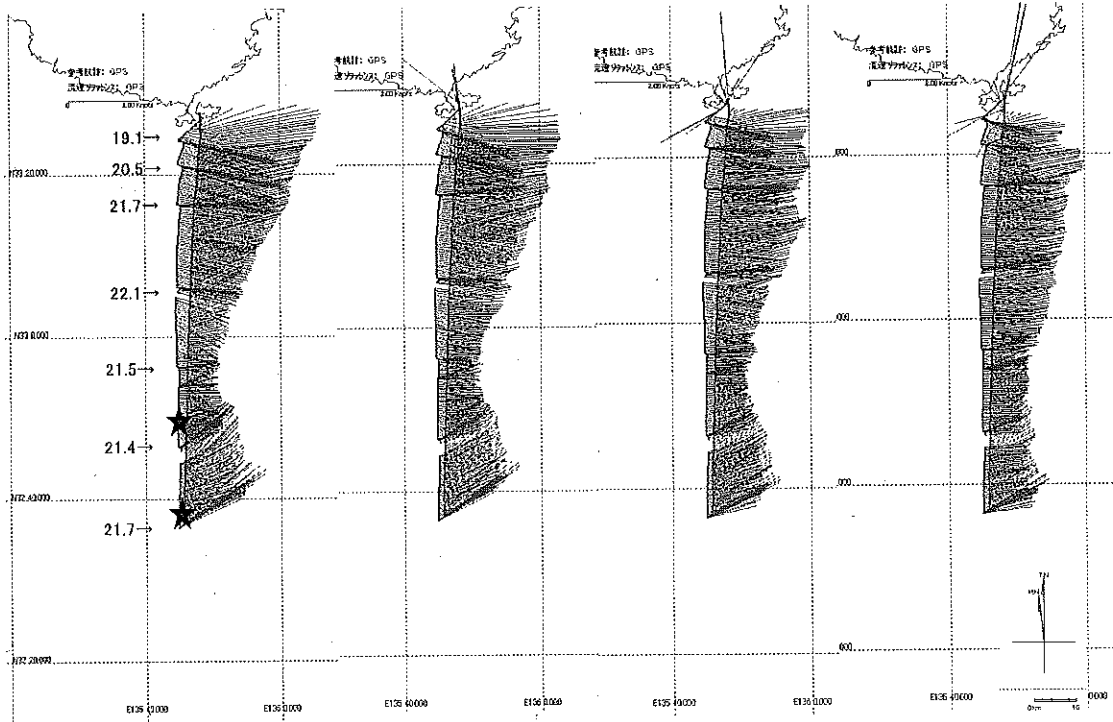


図2 潮岬沖合の海況 (2017年4月28日観測)

図は左より往路表層 (17m)、49m層、97m層、153m層の流況、図中の数字は表面水温を示す。★流れ藻の採集

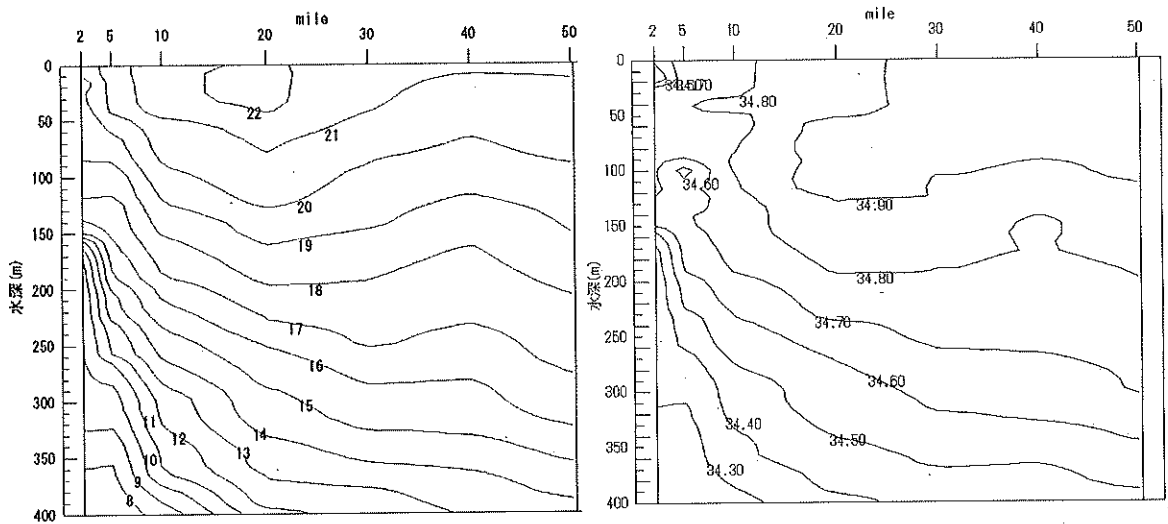


図3 潮岬南沖50マイルの水溫・塩分鉛直分布図 (2017年4月28日観測)

表1 流れ藻の採集状況 (2017/04/28)

月日	時間	緯度	経度	水溫°C	藻の大きさ	魚種・個体数	ブリFL平均
4月28日	10:11	32° 53.8' N	135° 45.0' E	20.7	2.5m×2.0m	ハナオコゼ1、ニジギンポ1	-
4月28日	10:14	32° 53.9' N	135° 45.0' E	20.7	1.0m×1.0m	魚類なし	-
4月28日	10:16	32° 53.9' N	135° 45.0' E	20.7	1.0m×1.0m	魚類なし	-
4月28日	12:23	32° 36.7' N	135° 45.3' E	21.6	1.5m×1.0m	ブリ1、ハナオコゼ1	54.3
4月28日	12:27	32° 36.9' N	135° 45.5' E	21.6	1.0m×1.0m	ブリ2	57.3